

とおたるけあ

第17号



日本医療機能評価機構認定病院



敷地内にて撮影

新年のご挨拶



三愛病院看護部
看護部長 松坂 愛子

新年あけましておめでとうございます。

新たな希望を胸に千寿会一同、安心・安全な医療・看護の提供ができるよう尽力していきたいと考えております。

東北大震災から早1年経とうとしています。当院からも2名が福島県郡山市に「こころのケアチーム」の一員として微力ながらも支援活動してきましたが、未だ避難生活や不自由な生活を送られている皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

昨年1月には全職員の力を合わせ日本医療機能評価機構 Ver.6 取得更新し、患者サービスに努めてきました。今後も質の高い医療・看護を提供出来るよう改善してまいります。

病院理念の一つでもあります、精神障害者と高齢者を対象に、医療・保健・福祉のトータルケアを目指し平成23年度には2施設目となる認知症高齢者グループホームを開設し、平成24年3月には小規模多機能型居宅介護「みすばしょう」の開設に向けて準備しているところです。

登別市も年々高齢化(高齢化率28%)が進んでおり地域住民を対象とした市民講座、講演会などで認知症に対する理解を深めてきていると感じています。また「看護の日」などで市民相談窓口を設けるなど年々相談数が増えてきており、近隣地域住民に認知症疾患医療センターの周知と更なる充実を図りたいと考えています。

平成24年度の診療報酬、介護報酬の改定が決まり早期の在宅療養への移行、地域生活の復帰に向けた取り組み、介護においても施設から在宅介護の移行などにより自立支援型サービスの強化となっています。4月からは一部法改正により医療や看護の連携により、介護職員の「たんの吸引等」の実施が始まります。病院、施設、在宅においてもマンパワーが必要となり人材確保の難しさと教育システムが重要と考えています。

地域との密着した連携が重要となり精神障害者、高齢者が安心・安全な生活を地域で送れるよう援助していきたいと考えています。

この1年よろしくお見舞い申し上げます。



特定・特別医療法人
社 団 千 寿 会 三 愛 病 院

〒059-0493
北海道登別市中登別町24番地12
TEL (0143) 83-1111
FAX (0143) 83-1361

<直通TEL>

歯科口腔外科 (0143) 83-3991
医療福祉相談室 (0143) 83-3207
地域生活支援室 (0143) 83-3572
精神科デイケア (0143) 83-2520

<URL>

<http://www.sanai-hospital.or.jp>

<E-mail>

post@sanai-hospital.or.jp

<診療科目>

精神科・老年精神科・内科
老年内科・心療内科・消化器内科
皮膚科・リハビリテーション科
歯科口腔外科

<診療時間>

平日 午前9時 ~ 12時
午後1時 ~ 5時
土曜日 午前9時 ~ 12時



作成: 三愛病院 広報委員会

精神科デイケア、ナイトケアのご案内

当院では精神障害をお持ちの方の社会復帰を
多方面でサポートしております。

精神科デイケア 精神保健福祉士 二瓶 公介

当院精神科デイケアは平成13年に開設され10年が経過しました。平成21年からはナイトケアも開設しまして、開設当初1日10名前後であった利用者数が現在では30名前後の方が利用する状況となりました。職員体制も開設当初は看護師2名、精神保健福祉士1名の3名体制でしたが、現在は看護師1名、精神保健福祉士3名、作業療法士3名の7名体制で運営しています。

精神科デイケアは月~金曜日の9:00~15:00、精神科ナイトケアは月・水・金曜日の週3回16:00~20:00で実施しており精神科デイケアとの併用も可能となっています。対象者は当院の外来患者様となっており、入院生活から地域社会へと生活の場を移された方、日中活動や仲間作りの場を求めている方が利用しています。

精神科デイケア、ナイトケアでは、プログラム活動を通して仲間との繋がりを感じたり、意欲向上を図ることで、その人らしく安心して地域生活が送れるようサポートできたらと考えております。プログラムの内容は、スポーツ、趣味活動、クラブ活動(合唱、漢字、園芸など)を行っています。見学・体験利用も行えますので興味のある方は外来又は精神科デイケアに直接お問い合わせ下さい。



デイケア玄関



ナイトケアの様子

病院理念

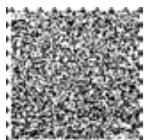
- 1.精神障害者と高齢者を対象に、医療・保健・福祉のトータルケアを目指します。
- 1.自然環境との調和を大切に「癒される」病院創りを目指します。
- 1.チーム医療により良質な医療と地域に開かれた機能的病院を目指します。
- 1.常に謙虚に患者様と御家族の気持ちを尊重し、心のこもった医療の提供を目指します。

基本方針

当病院は自然環境を生かし、アメニティの充実を図ると共に、精神科ではチーム医療における質の高い医療を追求しています。
法人グループの各施設がそれぞれの役割を担い、医療・保健・福祉における連携と人権を尊重し、患者様並びに御家族との相互理解を深め、地域のニーズに合った信頼される医療の提供をいたします。

患者の権利

- 一人の人間としての尊厳を尊重され、丁寧に敬意をもって扱われる権利を有する。
- 差別されることなく、公平かつ適切で良質な医療を継続して受けられる権利を有する。
- 医療に関する個人情報保護されるとともに、私的なことに干渉されない権利を有する。
- 自己に関する医療行為や医療情報に関して十分な説明を受けることができ、その上で、治療方法に関して選択できる権利を有する。
- 医療費、公的援助に関する情報や説明を受けることができる権利を有する。
- 健康や病状、保健サービスなどについて教育を受ける権利を有する。
- 医療の充実・改善をはかるために、苦情や意見を申し立てることができる権利を有する。



新たな診療科を開始いたしましたので、ご案内致します。

◎漢方外来を始め

内科医 金上 宣夫

昨年4月から内科外来診療を行っていますが、当院は職員以外は若い患者さんが少なく、高齢者が多いです。高齢者の身体の特徴は、筋力低下、生活の特徴としては、遊びは良くないこと(真面目人間?)、遊びはお金がかかる(お金をかけなくても遊べるのに)、定年で悠々自適でただ家にいるだけ、何もしていない人が多いです。それで、身体を使わないために具合が悪くなって受診するようです。この様な患者さんには漢方薬が有効なことが多いので、昨年10月から漢方外来を始めました。

未病(未だ病ならず。検査に異常はないが、身体の調子が何かいつもと違う、具合が悪い。)では、西洋医学では病名がつかず治療になりません。他の病院に掛かっているが、治療が芳しくないという人も来ます。高齢者の未病に対しては、漢方は結構有効です。漢方では、病気になった時に、身体には元々病気を治す力があるので、漢方薬はそれを手伝うのが役目と考えられています。しかし、生活が病的な場合には、いくら良い薬を使っても病気は再発します。例えば、昼寝して夜は寝ないでテレビを見たり、朝食を抜いて疲れやすいとか、運動もしないでダイエットとかです。疲れるのは当たり前です。やせないの当たり前です。そんなことから、漢方外来は、普段の生活が病的でないかどうかのチェックで始まっています。食事は決まった時間に3度食べることに。寝るのは夜6~7時間です。



受診をご希望される方は、毎週火・水・金曜日の外来日に申し出ください。
 <問い合わせ先> 0143-83-1111 (代表) 外来迄

◎合併症対応についてご案内

当院では患者様の合併症に対応すべく、トータルケアの1つとして、眼科、皮膚科に加え、この度、毎週水曜日に泌尿器科の治療も行う事となりました。

予定表を確認の上、診療をご希望の方はお気軽にご相談下さい。(0143-83-1111)

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------|---|---|---|---|---------|-------|
| 精神科 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 内科 | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 皮膚科 | | | | | ●(午前のみ) | |
| 泌尿器科 | | | ● | | | |
| 眼(非急診)科 | | | | | | ●(隔週) |

●診察時間 平日 午前 8:30~11:30
 午後 13:00~16:30(要予約制)
 土曜日 午前 8:30~11:30
 ●休診日 日曜日・祝日

市民公開講座開催

平成23年10月15日、当院が主催する市民公開講座が登別市鉄南ふれあいセンターを会場に開催致しました。当院では初の企画となり会場には約150人の参加者が集まりました。講師には当院で心療内科の診察にあたり、東邦大学学長補佐・医学部教授(心身医学)の中野弘一医師にお引き受け頂き、“ストレスで傷んだ心と身体の治し方~心療内科での取り組み~”と題し講演を頂きました。中野教授は毎月当院にて外来を行っております。気にかかることがあれば当院ホームページにて外来診療日を確認し予約の上、是非、受診してください。



尚、3月22日(木)、第2回目の市民公開講座を開催致しますので、参加のご希望がありましたら、三愛病院迄、お問い合わせ下さい。
 日時：平成24年3月22日(木) 14:00~
 場所：登別市民会館 中ホール
 講師：三愛病院 内科医 金上 宣夫
 講演：ストレス社会と漢方 ~ ちょっと工夫すれば元気になる ~

認知症疾患医療センター 開設1年を迎えて 専従精神保健福祉士 竹内 亮平

当院では、平成22年10月から、北海道よりモデル指定を受け認知症疾患医療センターを運営しています。開設初年度に当たり、認知症の早期発見、早期治療、重症化を予防することを目的に、医療の提供はもちろん、認知症の啓蒙活動や、保健医療関係者との連携体制の整備などに力を入れ活動してきました。これまでに多くの地域住民の方が当センターを利用して頂き、ご家族も含め認知症の正しい理解、正しい服薬の仕方等を学んで頂き、日常生活の維持、向上に協力できたと思っています。同時に、認知症により問題を抱えている方がまだまだ多く存在している事に改めて気づかされ、また新たな課題も見つかったのも事実です。

登別市の高齢化率は28%を超え、今後も上昇することが見込まれています。高齢化率の上昇に伴い、認知症患者の増加も見込まれ、地域住民の方にも認知症がより身近なものに感じられると思います。今後はより一層、地域における認知症に関する保健医療水準の向上を目指した活動に尽力し、当センター、あるいはかかりつけ医による認知症治療を受けやすい環境づくり等、医療・保健・福祉・介護のトータルケアを目指し、誰もが住みやすい街づくりを目指して活動していきたいと思っています。

もの忘れなどでお悩みの方は、お気軽に電話にてご相談ください。専門の相談員がお応えいたします。よろしくお願いいたします。

新たな事業を開設致しますので、ご案内申し上げます。

◎小規模多機能型居宅介護 みずばしょう開設にあたり

高齢者グループホーム 総合施設長 高嶋 活哉

今年度新たな事業として、高齢者グループホームみずばしょうに併設し小規模多機能型居宅介護事業所が3月1日開設致します。

このサービスは平成18年4月から始まった地域密着型サービスのひとつで、在宅で生活する高齢者が住み慣れた家で暮らし続けることができるよう、事業所に登録し、通い・訪問・泊まりのサービスを柔軟に一体的に提供するというサービスです。一つの事業所で3つのサービスが受けられるので、いつも通っている事業所のスタッフが必要な時には訪問し、また、馴染みのある事業所に泊まることもできる効果の高いサービスとなります。

登別市内では1件目となることもあり、期待と責任を感じておりますが、多くの方の安心と笑顔が増えるよう取組んで参ります。



◎福祉有償運送事業開設について ヘルパーステーションあおい(愛桜) 所長 中野 公仁

平成22年11月1日にヘルパーステーションあおい(愛桜)を開設して1年が経ちました。おかげ様で、ご利用していただく方も増えました。これもひとえに周りから支えられての事です。

その中でこの度福祉有償運送事業を平成24年3月より開設し、高齢者や障がい者の方々の病院の通院をはじめとして、外出する機会を事業を通して活用していただける事と考えております。

今後もスタッフ一同頑張っていきますので、宜しくお願致します。ご利用を希望される方は下記迄ご連絡下さい。

問い合わせ先：0143-83-4039



研修報告について

当院では、患者様に質の高い医療を提供出来るよう職員の研修参加を積極的に行っております。

院内研究会を終えて

栄養課 管理栄養士 若松 絃美

10月7日に開催されました院内研究会にて『誤嚥・窒息予防のための嚥下評価表から見た食事形態の検討』~全粥ミキサーゼリー化への取り組み~について報告致しました。福間病院職員の皆様を迎え、活発な意見交換の中この取り組みについて評価を頂き、最優秀賞を頂いたことを栄養課スタッフ並びに病棟看護師のご協力への感謝とともに大変嬉しく思います。

最後まで安全に召し上がっていただくために、現在提供している食事が、患者様の嚥下レベルに合っているものなのか、取り組みにより現状を見直すこととなり、賞を励みにより安全に召し上がって頂くことに繋げられるよう現在、新たな食事形態の導入に向け日々試行錯誤の毎日です。今後ともご指導ご協力よろしくお願い致します。



日本デイケア学会に参加して

精神科デイケア 精神保健福祉士 帰山 千歌

この度日本デイケア学会に出席させて頂き、日本各地の精神医療従事者による講演会や演題発表から、各地のデイケアの活動報告や今後の課題等を学ぶ事が出来た。当デイケアの課題としては、ストレスマネジメントや認知行動療法・SST等を今以上に実施していき、利用者の疾病管理能力を高めたり就労支援を強化する必要があると感じた。また、当デイケアにおける合唱クラブの取り組みを全国各地のデイケア関係者の方々の前で演説させて頂いた事が、自分自身にとって大きな経験となった。

デイケアという場は医療と福祉の両方の機能を併せ持っているが、両方の域を超え1つの「社会」である。各利用者がデイケアの中で目標を見つけ、自分の選択に責任を持ち、自分らしい生活を送って頂けるような支援を心がけ、今後も精進していきたい。

